

美瑛岳

美瑛町立美瑛中学校
学校だより
令和5年8月号

「真夏の〇〇」

校長 金山 達也

「地球温暖化から地球沸騰化の時代へ」～国連アントニオ・グテーレス事務総長の言葉です。文字どおり7月から8月にかけて日本列島は猛暑に見舞われました。北海道でも連日の真夏日となり、8月23日には札幌で過去最高気温となる36.4度を記録しました。また、世界各地でもその影響は大きく、特に8月下旬に起きたヨーロッパやハワイの山火事は多くの犠牲者が出ています。今なお避難されている方も多く、世界規模の災害となっています。少し大げさかもしれませんが、2023の夏は「灼熱の記憶」として刻まれるのでしょうか。

さて、美瑛中の夏休みは、7月末から中体連の全道大会が行われ、柔道の得能さん、水泳の杉山さんが出場しました。また、吹奏楽コンクールも旭川市民文化会館で行われ、C編成の部で見事金賞を獲得しました。残念ながら全道大会には一歩及ばず進むことは叶いませんでした。しかし、演奏後の生徒たちのほっとしたような、それでいて満足感あふれる表情がとても印象的でした。部活動に一生懸命取り組んできた3年生にとっての最後の熱い夏が終わりました。お疲れ様。

一方、この夏、日本は第78回目となる終戦記念日を迎えました。8月6日と9日には、ここ美瑛町でもサイレンが鳴り響きました。様々な思いをお持ちの方もいらっしゃると思いますが、私自身はいつもとは違う気持ちで迎えました。今、現在もこの地球上のどこかで起こっている内戦や紛争。毎日報道されるニュースを見ていると、対岸の火事にはどうしても思えない自分がいます。戦争によって奪われる尊い命や自然は帰ってくることはありません。そして、大なり小なり世界の人々に何かしらの悪影響を与えているのも紛れもない事実です。こうした状況を何とかしたくても何から手をつければいいのか思い悩む自分がいます。6年前に目の当たりにした広島原爆ドームや悲惨な写真や絵、展示物等を思い出します。

そんな中、一人の女性が8月下旬に私を訪ねてきました。『夢見る小学校』という映画の広告チラシを全校生徒と先生方に配布してほしいということでした。「今現在の学校を否定し、変わって欲しいということではなく、こんな学校(生き方)もあるんだということを知ってほしい」その思いだけで、映画上映に向けた準備を個人で進めてきたとのことでした。自費で映画を申し込み、自ら美瑛町教育委員会の後援を依頼し、美瑛町内の全ての学校に協力を要請していることもわかりました。前述の私のように、事の大きさに思い悩むあまり結局何もできずにいるよりも、彼女のように自分にできることを精一杯やることの大切さを改めて感じさせる真夏の出会いとなりました。

上映会は、9月3日(日) 午前の部 10:00~11:45、午後の部 13:00~14:45、美瑛町町民センター3階大会議室、参加料無料(カンパ制)、各回定員80名まで、空きがあれば当日の問い合わせも可能

中体連全道大会・吹奏楽コンクール報告

【中体連全道大会】

7月21日から23日に函館市で水泳、7月27日28日に千歳市で柔道の全道大会が開催されました。

水泳では3年生の杉山紗菜さんが、4×100mリレーで第3位、柔道では3年生の得能理杜さんが55kg級でベスト8に入る大健闘を見せました。どちらも全国大会には進めませんでした。これまでの練習で培った力を発揮することができたことと思います。

【吹奏楽コンクール旭川地区予選】

7月29日に旭川市民文化会館で吹奏楽コンクール旭川地区予選が行われました。本校吹奏楽部は、自由曲「赤い森～1986.4.26 チェルノブイリ原子力発電所事故による～」を演奏し、見事金賞を受賞しました。残念ながら全道大会まではあと一歩届きませんでした。メンバーが息を合わせて、素晴らしい演奏を披露しました。



美瑛町教育研究会 小中芸術鑑賞会

8月21日(月)～23日(水)の3日間、美瑛町教研主催の芸術鑑賞会が町民センターで行われ、美瑛中の1年生は21日に、2、3年生は22日に鑑賞しました。今年度は演劇鑑賞ということで、劇団「影法師」による『もったいないミュージカル』という演目でした。環境をテーマにしたミュージカルで、途中、観客の生徒達も手拍子で参加する楽しい内容の舞台でした。



祭りは自分たちの手で ～9月9日(土)文化祭～

9月9日(土)は美瑛中学校の第48回文化祭です。4年ぶりに体育館と各教室を会場に行いますが、今年は、観覧を生徒のご家族のみに制限して開催させていただきます。美瑛中の文化祭、体育祭は生徒達自身の手で作り上げるものになっています。連日話し合いを行い、素晴らしい文化祭にしようと頑張っています。

